

## スワヒリ語トゥンバトゥ方言の談話資料

### ―炒められたマカメの冒険―

古本 真

日本学術振興会／エセックス大学

mfl19996@essex.ac.uk

キーワード：スワヒリ語、トゥンバトゥ方言、民話

#### 1 はじめに

本稿では、スワヒリ語トゥンバトゥ方言・ジョンゴウェ変種のある話者が一編の民話を語った際の録音を書き起こしたうえで公開する。

スワヒリ語には、東アフリカ沿岸部におよそ 20 の地域方言が存在するとされており、トゥンバトゥ方言は、そうした方言のひとつとして知られる (Nurse & Hinnebusch 1993: 5-14)。

トゥンバトゥ方言という呼称 (Kitumbatu<sup>1</sup>) は、主にタンザニア連合共和国・ザンジバル自治区、ウングジャ島の北に位置する小島、トゥンバトゥ島で話されるスワヒリ語の地域変種を指すために用いられる。トゥンバトゥ島内には、ゴマニ (Gomani) とジョンゴウェ (Jongowe<sup>2</sup>) という二つの地区があり、本稿で紹介する民話を語ってくれた話者はジョンゴウェ出身である。なお、ウングジャ島北部でも、トゥンバトゥ方言に類似する言語変種が話される地域がある。この類似の理由の一つとしては、トゥンバトゥ島からの人の移住が考えられる (竹村 1999: 120-121, 2012: 212)。

トゥンバトゥ方言の言語特徴については、Stude (1995)、竹村 (1999, 2012, 2014)、Takemura (2008, 2016, 2017)、Baraza la Kiswahili la Zanzibar (2012) などからうかがい知ることができるが、本稿で紹介する民話テキストでは、これらの先行研究で記述されていない特徴が散見される。これは、トゥンバトゥ方言の記述が途上の段階にあるということだけでなく、トゥンバトゥ方言とまとめられる諸変種のなかに差があることによるものと考えられる。その詳細については、別稿に譲るが、本稿の目的のひとつには、トゥンバトゥ方言記述の一貫として、こうした未記述の特徴を含むテキストを書き起こし、広く共有することがある。

以下、2 節では、語り部と録音について紹介する。3 節では、表記について説明する。4 節は、談話本編である。<sup>3</sup>

<sup>1</sup> *kitumbatu* 「トゥンバトゥ方言」という名詞は接頭辞 *ki-* と語幹 *tumbatu* に分析できる。この *ki-* という接頭辞は、地名などから言語名、方言名を派生させる際に用いられる。

<sup>2</sup> スワヒリ語正書法では、*Jongowe* と表記されるが、母語話者の発音では、*o* と *w* の間に 3 節で説明する硬口蓋側面接近音が現れる。

<sup>3</sup> In section 2 and 3, I provide information about the narrator and the recording situation as well as transcription,

## 2 語り部と録音について

本稿で公開するテキストは、筆者が録音した音声データを書き起こしたものである。この録音は、2019年7月24日に、ジョンゴウエ地区で行っている。録音は全体で40分程度あるが、本稿で公開するのは冒頭の16分30秒である。語り部は、ムシェンガ・ハジ・シェハ (Mshenga Haji Sheha) という名の77歳の男性である。録音の際は、筆者の調査協力者であるファキ・パンドゥ・マカメ (Faki Pandu Makame) 氏 (40代男性、ゴマニ出身) と、ジョンゴウエ地区に住む10代の少年二人が聞き手として同席している。なお、筆者は、調査の意図と録音する旨を伝えたのちに、民話が終わるまで席を外している。録音の書き起こしは、録音の翌日 (2019年7月25日) に、ファキ・パンドゥ・マカメ氏の協力のもと行っている。

語り部であるムシェンガ・ハジ・シェハ氏は、漁のためタンザニアの大陸沿岸部や、ペンバ島<sup>4</sup>を訪れ、そこに一時的に滞在した経験ももつが、両親ともにトゥンバトゥ島のジョンゴウエ地区出身で、現在までジョンゴウエに居を構えて暮らしている。本稿で紹介する民話は、ともに暮らしていた母方の祖母から、ムシェンガ・ハジ・シェハ氏が幼少期に伝えられたものである。

## 3 表記について

テキストは、142の部分にわけてある。この分割は、音声的な区切れというよりは、統語的、意味的なまとまりをもとに、筆者が恣意的に行っている。

それぞれの部分は四行からなる。一行目は音転写、二行目はグロス、三行目は日本語訳、四行目は英訳となる。

原則として、音転写には標準スワヒリ語の正書法で用いられるアルファベットを使用する。ただし、本稿では、鼻音の成節性や無声有気音の有気性を、国際音声記号 (IPA) に定められた記号で表記する。標準スワヒリ語の正書法において、これらの素性は表記されない。トゥンバトゥ方言では、ほかの多くのスワヒリ語方言と異なり、(調音点が前よりの) 硬口蓋側面接近音<sup>5</sup>が用いられるが、これは、*l* にアポストロフィーをつけて表記する。また、音形をもたないゼロ接頭辞は *Ø* で表す。なお、スワヒリ語正書法では、文頭や固有名詞の初頭音が大文字で表記され、文末にピリオドが置かれるが、これらは本稿の表記に適用しない。発音が不明瞭で聞き取りにくかったところには (?) を付している。(55)(76)(120)(122) は、音転写全体、あるいは一部が括弧でくくられているが、これは、メインインフォーマント以外の同席者の発話であることを示している。

音転写には、形態素分析を施しているが、この分析は便宜的なもので、ほかの分析の可能性を排除する意図はない。例えば、本稿では、ほとんどの名詞や動詞語幹の内部に形態素境界の切れ目をいれていないが、バントウ諸語研究の慣例に従えば、名詞の中には接頭辞と語幹に分析できるものがあるだろうし、多くの動詞語幹は語根と末母音、あるいは語根、派生

---

glossing and translation policy. See appendices for English versions.

<sup>4</sup> ザンジバル自治区は、主にウングジャ島とペンバ島という二つの島から成り立つ。

<sup>5</sup> 国際音声記号 (IPA) で定められた表記法に従えば、*ɭ* と転写すべきものと考えられる。

接尾辞、末母音と分析できるだろう。

それぞれの形態素には、形態素ごとの意味や文法情報を示すためのグロスを付す。グロスの略号については、稿末の略号一覧を参照されたい。文法情報を表すグロスは、概ねそれぞれの形態素の機能的特徴に基づくものだが、その根拠となる分析は暫定的なものにすぎない。なお、スワヒリ語には他の多くのバントゥ諸語と同様に、名詞クラスと呼ばれる名詞分類が存在する。本稿では、標準スワヒリ語の名詞分類番号を援用して (cf. Meinhof 1932)、名詞、名詞と一致する修飾語や動詞の人称標識にグロスをつける。ただし、名詞には、名詞と一致する語や標識がある場合にのみ名詞クラスの情報を明記する。また、名詞と一致する要素の形式から名詞クラスを判別しているため、同じ名詞でも、異なる名詞クラス番号が付されることがある。聞き取りができず、適当なグロスがつけられない部分には、? を付している。それ以外のグロス付けの方針は、Leipzig Glossing Rule に則る。

日本語と英語の訳は、極力、原文で用いられている語の意味や文法構造を反映させて作成しているが、日本語や英語として不自然になるものや、わかりにくくなる部分については、括弧を用いて、原文にはないような語を補うなどしている。

#### 4 談話本編

- (1) *mimi jina langu mshenga haji sheha*

PRO.1SG name (CL5) my.CL5 PN PN PN

「わしの名前はムシェンガ・ハジ・シェハという。」

‘As for me, my name is Mshenga Haji Sneha.’

- (2) *na-taka ni-kw-ambile-ni nyue wana*

IPFV:1SG.SM-want 1SG.SM-2SG.OM-tell-AL.PL PRO.2PL children

*ku-wa vyo kale ku-vu wat<sup>h</sup>u wawili*

INF-COP DEM.MED.CL8 long\_time\_ago CL17.SM-COP.PST people (CL2) two.CL2

*mmoja hw-itwa makame wa makame mmoja mize wa mize*

one.CL1 HAB-call.PASS PN (CL1) CONN.CL1 PN one.CL1 PN (CL1) CONN.CL1 PN

「子供たちよ、わしはお前たちに、かつて、二人の人間がいたことについて話したい一人はマカメのマカメといい、もう一人はミゼのミゼである。」

‘I want to tell you that long time ago, there were two persons. One was called Makeme of Makame, and the other was Mize of Mize.’

- (3) *wa-ka-pata mwana yao mmoja*  
 CL2.SM-CONS-get child (CL1) their.CL1 one.CL1  
 「彼らは、子を一人授かった。」  
 ‘They were blessed with a child.’
- (4) *mwana mmoja huyo a-ka-itwa makame ivyo~ivyo*  
 child (CL1) one.CL1 DEM.MED.CL1 CL1.SM-CONS-call.PASS PN DEM.MED.CL8~RED  
  
*makame wa makame kama babi-e*  
 PN (CL1) CONN.CL1 PN like father-his  
 「その子供は、父親同様マカメと呼ばれていた。」  
 ‘That child was called Makame just like his father.’
- (5) *i-Ø-po-fika wakati yulya mwana ka-na-kul'a~kul'a*  
 CL9.SM-PFV-CL16.REL-reach time DEM.DIST.CL1 child (CL1) CL1.SM-PFV-grow~RED  
 「時期が来ると、その子供はどんどんと育っていった。」  
 ‘When the time came, the child had grown.’
- (6) *ka-ŋ-cheza~cheza na wezi-we*  
 CL1.SM-PFV-play~RED COM friends-his  
 「彼は、友達と遊んだ。」  
 ‘He played with his friends.’
- (7) *a-ka-ja a-ka-mw-ambiya mami-e*  
 CL1.SM-CONS-come CL1.SM-CONS-CL1.OM-tell mother (CL1)-his  
  
*mama ni-kal'anga*  
 mother 1SG.OM-fry.IMP  
 「そして（ある日）彼は母のところにやってきて言った。『おっかさん、私のことを炒めてください。』」  
 ‘(One day,) He came to his mother and told her.’: “Mum, please fry me.”
- (8) *aka mwana u-kal'angwe vipi*  
 INTJ child 2SG.SM-fry.PASS.SBJV how  
 『え、（我が）子よ、どんな風にあなを炒めたらいいのでしょうか（どのようにあなたは炒められることでしょうか）。』  
 “What? (My) son, how are you to be fried?”

- (9) *jika gae po jiko-ni tul'a gae ipo*  
 put.IMP pot DEM.MED.CL16 fireplace-LOC put.IMP pot DEM.MED.CL16  
*jiko-ni li-ka-kol'a moto miye ni-ngil'e*  
 fireplace-LOC CL5 SM-CONS-get heat PRO.1SG 1SG.SM-enter.SBJV  
 『かまどに鍋を置いてください。鍋が熱くなったら、私は(その中に)入ります。』  
 “Put the pot on the fireplace. When it gets hot, I shall go inside.”
- (10) *aka huyu mwana si ku-cha-kufwa*  
 INTJ DEM.PROX.CL1 child (CL1) NEG 2SG.SM-FUT-die  
 『なんと。お前さん(わが子よ)、(そんなことをして)死んでしまわないのかい。』  
 “(But) my son, you will die.”
- (11) *aa si-cha-kufwa mama*  
 no NEG:1SG.SM-FUT-die mother  
 『いいえ、おっかさん。私が死ぬことはありません。』  
 “No, I will not die, mum.”
- (12) *basi a-ka-m-fanyia hivi*  
 so CL1.SM-CONS-CL1.OM-do.APPL DEM.PROX.CL8  
 「母親は、そのように(子供の言う通りに)してやった。」  
 ‘So, she did (as her son asked here).’

- (13) *a-Ø-po-m-fanyia* *yule* *mwana* *gae*  
CL1.SM-PFV-CL16.REL-CL1.OM-do.APPL DEM.DIST.CL1 child (CL1) pot (CL5)

*li-sha-kol'a* *moto-moto* *u-na-waka* *pale*  
CL5.SM-COMPL-get fire (CL3)~RED CL3.SM-IPFV-burn DEM.DIST.CL16

*a-ka-rukiya* *a-ka-ngiya* *tena veye*  
CL1.SM-CONS-jump.APPL CL1.SM-CONS-enter then PRO.CL1

*ka-na-ji-virusha~virusha*

CL1.SM-IPFV-REFL-roll~RED

「彼女がその子供のために、（言う通りに）してやる段になると、鍋は熱せられ、火は燃えたぎっていた。彼は、そこに飛び込み、そして（その中を）転がりまわったのだった。」

‘As she did so and the pot was fired up for her child, he jumped into it, where he rolled from side to side.’

- (14) *a-Ø-po-kwisha* *haja* *yakwe* *pale*  
CL1.SM-PFV-CL16.REL-finish CL9.need his.CL9 DEM.DIST.CL16

*a-ka-wa* *a-ka-ruka* *a-ka-ja* *nje*  
CL1.SM-CONS-COP CL1.SM-CONS-jump CL1.SM-CONS-come outside

「彼は、そこでの用事を終えると（炒められると）、外に飛び出た。」

‘When he was done (with what he was doing), he jumped out (of the pot).’

- (15) *a-ka-j-ita* *sasa miye* *makame lakini makame kikal'ange*<sup>6</sup>  
CL1.SM-CONS-REFL-call now PRO.1SG PN but PN PN

「そして、彼はこう名乗った。私はマカメのマカメではあるが、これからマカメ・キカランゲ（炒められたマカメ）だ。」

‘Then, he introduced himself.’: “From now, I am (still) Makame, but Makame Kikal’ange (Makame the Fried)”

<sup>6</sup> *kikal'ange* には、固有名詞であることを示すグロス PN を付しているが、その語形から「炒める」を意味する動詞-*kal'anga* から派生した語であることが推測される。

- (16) *tena hapa ha-pa-ŋ lya ku-ni-pata*  
 then DEM.PROX.CL16 NEG-CL16.SM-have CONN.CL5 INF-1SG.OM-get

*nda vyangu ha-some*  
 go:1SG.SM my.CL8 ITV:1SG.SM-study.SBJV

『ここに私を引き留めるものは何もない。私はここを出て、学びに行かなければ。』

“There is nothing keeping me here. I’m leaving (here) to (go and) study.

- (17) *a-k-enda zakwe chuo-ni a-ka-soma*  
 CL1.SM-CONS-go his.CL10 school-LOC CL1.SM-CONS-study

「彼は学校（マドラサ）に行き、そこで勉強をした。」

‘He went to school (madrasah) and studied.’

- (18) *a-ka-wa ka-na-soma~soma a-ka-ya nahodha*  
 CL1.SM-CONS-COP CL1.SM-IPFV-study~RED CL1.SM-CONS-HESIT captain

「彼は勉学を修めたのちに、（ある）ナホザ（船長）の下へとつくことになった。」

‘He studied and then served under a “nahodha” (captain).’

- (19) *mo katika safari zakwe kula mkondo wa-na-kut<sup>h</sup>a*  
 DEM.MED.CL18 in journey (CL10) his.CL10 every whirlpool CL2.SM-IPFV-meet

*jini ka-na-wa-ziriya chombo chao*  
 monster (CL1) CL1.SM-IPFV-CL2.OM-catch ship (CL7) their.CL7

「その旅の道中、潮が渦巻いているところを通り過ぎるたびに、彼らは、船を捕まえる怪物に出くわした。」

‘During his (their) journey, they encountered a monster in every whirlpool, which would captured their ship.’

- (20) *na ha-ki-l'awa kile chombo ki-ka-safiri mpaka*  
COM NEG-CL7.SM-take\_out.PFV DEM.DIST.CL7 ship (CL7) CL7.SM-CONS-travel until

*wa-l'avye kit<sup>h</sup>u kama chano kama chochosi*  
CL2.SM-take\_out.SBJV stuff (CL7) like offering (CL7) like any.CL7

*wa-li-cho na-cho*  
CL2.SM-COP-CL7.REL COM-CL7.PRO

「その船は、もっているものを何か供物として差し出さない限り、その渦を抜け出すことができなかった。」

‘The ship could not continue its journey unless they gave out something from their possessions as an offering.’

- (21) *nahodha a-ka-fikiria kwamba huyu mwana*  
captain (CL1) CL1.SM-CONS-think.APPL COMP DEM.PROX.CL1 child (CL1)

*huyu mkondo fulani tu-ta-pata cha ku-l'avya*  
DEM.PROX.CL1 whirlpool certain 1PL.SM-FUT-get CONN.CL7 INF-take\_out

「ナホザ（船長）はこう思った。『この子供がいるな。渦に巻き込まれたときに、この子を差し出すことができるんじゃないか。』」

“‘Nahodha’ (the captain) thought’: “(when caught,) we can sacrifice this child in the whirlpool.”

- (22) *wa-k-enda zao kwa mfano pemba*  
CL2.SM-CONS-go their.CL10 CONN.CL15 example PN

「彼らは例えばペンバへ向かった。」

‘They sailed, for example, to Pemba.’

- (23) *wa-Ø-po-fika mkondo wa nungwi*  
CL2.SM-PFV-CL16.REL-reach whirlpool (CL3) CONN.CL3 PN

*ki-chombo ki-ka-ziriwa ni yule p<sup>h</sup>weza nyambo*  
DIM (CL7)-ship CL7.SM-CONS-catch.PASS by DEM.DIST.CL1 octopus (CL1) octopus (CL1)

「ヌングイの渦潮に到達したとき、小舟はあのタコにつかまってしまった。」

‘When they arrived at the whirlpool of Nungwi, the small ship was caught by an octopus.’



- (24) *nyambo yule a-ka-pilika mkony-we(?)*  
octopus (CL1) DEM.DIST.CL1 CL1.SM-CONS-send arm-his

*a-ka-ziriya chombo ki-ka-wa ha-ki-nda mbele*  
CL1.SM-CONS-catch ship (CL7) CL7.SM-CONS-COP NEG-CL7.SM-go front

「あのタコは、その触手を伸ばし、船を捕まえてしまった。船は前に進むことができない。」

‘That octopus stretched out its tentacle, hindering the ship from advancing.’

- (25) *pano tu ndo pepi ko*  
DEM.PROX.CL16 just EMPH near DEM.MED.CL17

*mkondo-ni ku-ta-wa vipi*  
whirlpool-LOC (CL17) CL17.SM-FUT-COP how

『ここは近くだぞ。(もっと先の) 渦潮ではどうなってしまうんだ。』

“Here, we are only close by. What will happen in the whirlpool?”

- (26) *wa-ka-chukul'a wa-ka-m-chukul'a yule mwana*  
CL2.SM-CONS-take CL2.SM-CONS-CL1.OM-take DEM.DIST.CL1 child (CL1)

*wa-ka-m-tosa*  
CL2.SM-CONS-CL1.OM-throw\_into

「彼らは、あの子供を捕まえて、海に投げ入れた。」

‘They caught the child, and threw him into the water.’

- (27) *wa-Ø-po-m-tosa yulya mwana*  
CL2.SM-PFV-CL16.REL-CL1.OM-throw\_into DEM.DIST.CL1 child (CL1)

「彼らが、あの子供を産みに投げ入れたとき、」

‘When they threw the child,’

- (28) *i-na maana a-k-enda a-ka-banwa ni p<sup>h</sup>weza*  
CL9.SM-have meaning CL1.SM-CONS-go CL1.SM-CONS-squeeze.PASS by octopus  
*kwa vifambo vyakwe vile*  
CONN.CL15 suckers (CL8) his.CL8 DEM.DIST.CL8

「それは、彼がタコに (あの) 吸盤で捕らえられに行くことを意味している。」

‘This meant that he would go and be caught by the octopus with its suckers.’

- (29) *lakini kumbe yule mwana+kwao<sup>7</sup> a-Ø-po-uka*  
 but INTJ DEM.DIST.CL1 child (CL1)+their.CL17 CL1.SM-PFV-CL16.REL-leave

*chuo-ni ka-ŋ kiji-visu mkoba-ni*  
 school-LOC CL1.SM-have DIM (CL7)-knives bag-LOC

「しかし、なんと、あの彼らの兄弟（マカメ）は、学校を出るときに、かばんの中に、小刀を忍ばせていた（持っていた）。」

‘But their brother (Makame) had hidden a small knife in his bag when had he left the school.’

- (30) *a-Ø-po-fika a-k-anza kazi yakwe*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-reach CL1.SM-CONS-begin work (CL9) his.CL9  
 「(マカメは、タコに) 到達すると、自分の務めにとりかかった。」  
 ‘(So,) When he got to the octopus, he started his work.’

- (31) *ke-sha-banwa uzuri p<sup>h</sup>we*  
 CL1.SM-COMPL-squeeze.PASS well HESIT

*nyambo ke-sha-nda yake ch<sup>i</sup>*  
 octopus (CL1) CL1.SM-COMPL-go his.CL9 ground (CL9)

「彼はしっかりと捕まえられてしまった。タコは(海の)底へと行ってしまった。」

‘He was firmly caught, and the octopus went to the seabed.’

- (32) *a-ka-anza ku-m-choma visu<sup>8</sup> ile nyambo*  
 CL1.SM-CONS-begin INF-CL1.OM-pierce knives DEM.DIST.CL9 octopus (CL1)  
 「彼はあのタコに何度もナイフを突き刺し始めた。」  
 ‘He started to stab the octopus with the knife again and again.’

<sup>7</sup> 子供を意味する *mwana* と 17 クラスの所有詞からなる複合語は、(年下の) 兄弟・姉妹を表す。所有詞は、所有物だけでなく、所有者の人称に応じて形式を変えるが、この複合語も所有者に対応する人称を変えることにより、誰の兄弟・姉妹であるかを言い分ける。

<sup>8</sup> *visu* という語形から、このナイフを表す名詞は複数形であると考えられるが、この場面では、ナイフが複数あるわけではなく、動作が複数回繰り返されることが表されている。

- (33) *a-ka-m* *a-ka-m-twiga*  
 CL1.SM-CONS-CL1.OM.HESIT CL1.SM-CONS-CL1.OM-stab  
  
*a-ka-m-toga* *kwa* *visu* *a-ka-m-toga*  
 CL1.SM-CONS-CL1.OM-pierce CONN.CL15 knives CL1.SM-CONS-CL1.OM-pierce  
  
*kwa* *kile* *kilya* *ki-visu* *chakwe*  
 CONN.CL15 DEM.DIST.CL7 DEM.DIST.CL7 DIM (CL7)-knives his.CL7  
  
*mpaka nyambo a-ka-regea a-ka-fwa*  
 until octopus (CL1) CL1.SM-CONS-loosen CL1.SM-CONS-die  
 「彼はナイフで何度も突き刺した。タコが伸びてくたばるまで、何度もあの彼の  
 ナイフで突いた。」  
 ‘He stabbed with his knife again and again until the octopus passed out and died’.
- (34) *he a-Ø-po-zuka yule mwana*  
 FIL CL1.SM-PFV-CL16.REL-rise DEM.DIST.CL1 child (CL1)  
  
*na kile chombo ki-ma-na-uka pale*  
 COM DEM.DIST.CL7 ship (CL7) CL7.SM-PRF-IPFV-leave DEM.DIST.CL16  
 「あの子供が浮かび上がってきたとき、あの船はその場を離れつつあった。」  
 ‘When the child came up (to the surface of the water), that ship was leaving there.’
- (35) *ka-ji-zongeze mkonyo wa nyambo mkul'u tu*  
 CL1.SM-REFL-wind.PFV arm (CL3) CONN.CL3 octopus (CL1) big.CL3 just  
 「彼はタコの大きな触手を身体に巻き付けているだけだった。」  
 ‘He wrapped himself with the big octopus’s tentacle.’
- (36) *a-ka-ngiya chombo-ni wat'u wa-ka-staajabu(?)*  
 CL1.SM-CONS-enter ship-LOC people (CL2) CL2.SM-CONS-be\_suprised  
 「彼が船に乗り込んでくると、人々は驚いた。」  
 ‘He got in the ship, and people were amazed.’
- (37) *aka ka-ma-rudi mwana gani*  
 INTJ CL1.SM-PRF-return child what\_kind  
 『なんと。戻ってきたよ。なんて子供だ。』  
 “Wow! Has he come back? What kind of child he is?”

- (38) *wa-ka-pata wasiwasi na-vyo lakini aa wengine wa-ka-sema*  
 CL2.SM-CONS-get worry COM-PRO.CL8 but FIL other.CL2 CL2.SM-CONS-say  
 「彼らは心配をしていた。しかし別のものが言った。」  
 ‘They had worries, but someone else said.’
- (39) *ka-cha-tu-fawa kwa mkondo mwingine huyu*  
 CL1.SM-FUT-1PL.OM-save CONN.CL15 whirlpool (CL3) other.CL3 DEM.PROX.CL1  
 『こいつは、我々のことを他の渦潮でも救ってくれるだろう。』  
 “This one (Makame) will save us in another whirlpool.”
- (40) *hapa ke-sha-rudi*  
 DEM.PROX.CL16 CL1.SM-COMPL-return  
 『ここに彼は戻ってきた。』  
 “He has come back here.”
- (41) *tu-cha-pata mkondo mwingine tu-cha-m-tosa tena*  
 1PL.SM-FUT-get whirlpool (CL3) other.CL3 1PL.SM-FUT-CL1.OM-throw\_into again  
 『我々は、別の渦潮に出くわすだろう。我々は、再び彼を投げ入れるだろう。』  
 “We will encounter another whirlpool. We will throw him in again.”
- (42) *wa-k-enda na ile mikondo saba*  
 CL2.SM-CONS-go COM DEM.DIST.CL4 whirlpool (CL4) seven  
 「彼らは、七つの渦潮に出くわすことになる。」  
 ‘And then, they went to the seven whirlpools.’
- (43) *sikiliza-ni uzuri-ni wana*  
 listen-AL.PL well-AL.PL children  
 「子供たちよ、よく聞きなさい。」  
 ‘Listen carefully, children.’
- (44) *m-je m-pate cha ku-hadithia wez-enu*  
 2PL.SM-come.SBJV 2PL.SM-get.SBJV CONN.CL7 INF-tell\_a\_story friends-your  
 「お前さんたちは、(この物語を) 覚えて仲間に話してやらなければならない。」  
 ‘You should learn this tale to tell your friends.’

- (45) *hadithi hii ya ul'ongo na kweli*  
 tale (CL9) DEM.PROX.CL9 CONN.CL9 lie COM truth

*lakini pakawa paukwa pakawa*

but *pakawa paukwa pakawa*

「この話は作り話でもあり本当でもある (かもしれない)。ただ、パウクワ、パカワのお話だ。<sup>9</sup>」

‘This tale might be made up or the truth. But either way, this is one of the tales which start with “paukwa pakawa”.’

- (46) *makame wa makame na mize wa mize*  
 PN (CL1) CONN.CL1 PN COM PN (CL1) CONN.CL1 PN

*ndo wa-Ø-o-i-anza*

*hadithi hii*

EMPH CL2.SM-PFV-CL2.REL-CL9.OM-begin tale (CL9) DEM.PROX.CL9

「マカメのマカメと、ミゼのミゼこそが、この話の幕を切ったのだ。」

‘It is Makame of Makame and Mize of Mize who began this tale.’

- (47) *wa-k-enda zao wale mpaka mkondo wa katikati*  
 CL2.SM-CONS-go their.CL10 DEM.DIST.CL2 up\_to whirlpool (CL3) CONN.CL3 central

*hapo*

DEM.MED.CL16

「あいつらは、あそこの中間地点にある渦潮へと向かう。」

‘They advanced to the central whirlpool.’

<sup>9</sup> この民話の冒頭では用いられていないが、スワヒリ語で民話が語られる際は、最初に語り部がパウクワ (*paukwa*) と問いかけ、聴衆がパカワ (*pakawa*) と返したあとに、物語が始まることが多い (cf. Taasisi ya Uchunguzi wa Kiswahili 2001: 256, 261)。パウクワ・パカワというフレーズは、それ以外にも、単にここで語られるような民話を指すために用いられることもある。なお、トゥンバトゥ方言では、パウクワ・パカワの代わりにポウクワ (*poukwa*)・ポクワアレ (*pokwale*) が用いられることもある。

- (48) *we-sha-fika*                      *we-sha-pita*                      *mfu+hanuku*<sup>10</sup>  
CL2.SM-COMPL-reach CL2.SM-COMPL-pass PN

*ki-ka-ziwa*                      *tena mara ya pili*  
CL7.SM-CONS-catch.PASS again time(CL9) CONN.CL9 second

「彼らは、ムフハヌクと呼ばれる地点にたどり着き、そこを通り過ぎた。(船は) 再び航行を妨げられている。二回目だ。」

‘They had arrived at the point called “Mfuhanuku”. Their ship was caught again. This is the second time.’

- (49) *chombo ki-na-piga kofi kwa kw-enda kumbi*  
ship (CL7) CL7.SM-IPFV-hit palm CONN.CL15 INF-go INTJ

*wa-N-fikiri(?) labda ki-na-kwenda*  
CL2.SM-PFV-think maybe CL7.SM-IPFV-go

「船は前進するために、水を打っている。彼らは、おそらく船は進むだろうと思った。」

‘The ship rowed the water to advance. They thought the ship would probably go on.’

- (50) *ndo ki-sha-ziwa*  
EMPH CL7.SM-COMPL-catch.PASS

「結局 (船は) 捕まってしまった。」

‘(But) After all, it was caught.’

- (51) *chombo ha-ki-nda poposi hiki jamaa-ni*  
ship (CL7) NEG-CL7.SM-go any.CL16 DEM.PROX.CL16 mate-AL.PL

*ki-sha-ziwa*  
CL7.SM-COMPL-catch.PASS

『お前たち、この船はどこにも行かない。捕まえられてしまった。』

“This ship doesn’t go anywhere. It has been caught.”

<sup>10</sup> *mfu+hanuku* は、実際に存在する海域を指す言葉だが、*mfu*「死体」と *hanuku*「臭わない」からなる複合語として分析できる。調査協力者のファキ・パンドゥ・マカメ氏によれば、この名前は、この海域に死体を捨てても臭いが漂わないことに由来するとのことである。なお、*mfu* は更に名詞接頭辞 *m-*と動詞-*fwa*「死ぬ」に分析できる。また、*hanuku* は、否定と 1 クラス名詞主語との一致を示す接頭辞 *ha-*と、動詞-*nuka*「臭う」の完結語幹に分解できる。

- (52) *a-ka-chukuligwa makame wa makame makame kikal'ange*  
 CL1.SM-CONS-take.PASS PN (CL1) CONN.CL1 PN PN PN  
 「そして、マカメのマカメこと、マカメ・キカランゲはとらえられた。」  
 ‘Makame of Makame, otherwise known as Makame Kikal’ange, was caught.’
- (53) *a-Ø-po-chukuligwa makame kikal'ange a-ka-toswa*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-take.PASS PN (CL1) PN (CL1) CL1.SM-CONS-throw\_into.PASS  
 「マカメ・キカランゲはとらえられると、海に投げ入れられた。」  
 ‘When Makame Kikal’ange was caught, he was thrown into the water.’
- (54) *a-Ø-po-kwenda kwa mkunga mkubwa sana*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-go CONN.CL15 eel (CL3) big.CL3 very  
 「彼が大ウナギのところに向かうと、」  
 ‘When he went to the place of the very big eel,’
- (55) (*na ile mikony-we y-endelee vipi*)<sup>11</sup>  
 COM DEM.DIST.CL4 arms (CL4)-his CL4.SM-go.APPL.PFV how  
 「ところで、あの（タコの）足はどうなったの。」  
 ‘By the way, what had happened to those tentacles (of the octopus)?’
- (56) *ile tena wa-piki*  
 DEM.DIST.CL4 then CL2.SM-cook.PFV  
  
*wa-kat<sup>h</sup>a~kat<sup>h</sup>a wa-ka-njika wale*  
 CL2.SM-cut.PFV~RED CL2.SM-CONS-cook DEM.DIST.CL2  
  
*wa-Ø-po-kwisha-njika wa-ka-lia mtama wao*  
 CL2.SM-PFV-CL16.REL-finish-cook CL2.SM-CONS-eat.APPL millet (CL3) their.CL3  
 「あれは、その後彼らが料理した。彼らは、細かく切って、料理をした。料理をし終わると、もろこしのおかずにして食べた。」  
 ‘They had cooked (the tentacles). They had chopped them into small pieces, then cooked them. When they were done, they ate them with millet.’

<sup>11</sup> (55) は、この民話を聞いていた 10 代の少年のうちの一人の発話である。

- (57) *wat<sup>hu</sup> wa-k-enda na safari zao*  
 people (CL2) CL2.SM-CONS-go COM journey (CL10) their.CL10  
 「そして、人々は旅にでた。」  
 ‘The people went on with their journey.’

- (58) *wa-Ø-po-kwenda kwa kal'ale mwingi tu*  
 CL2.SM-PFV-CL16.REL-go CONN.CL17 eel (CL3) many.CL3 just

*k-acha kinywa wazi*  
 CL1.SM-keep.PFV mouth open

「彼らが、大ウナギのところに着くと、それは口を開けて待ち構えていた。」  
 ‘When they came to the place that was filled with an eel, the eel was waiting, with its mouth open.’

- (59) *lakini yule mwana wa ku-la k-endesewa*  
 but DEM.DIST.CL1 child (CL1) CONN.CL1 INF-eat CL1.SM-go.CAUS.PASS.PFV

*kinywa-ni hu-zongezwa yule*  
 mouth-LOC CONS:CL1.SM-roll.PASS DEM.DIST.CL1

*halafu tena ka-ŋ-taka-ligwa*

then then CL1.SM-PFV-want-eat.PASS

「しかし、あの子供は、(その) 口の中へと、(入って) 行くことを余儀なくされる。彼は(ウナギに) 巻き付かれて、食べられようとしていた。」  
 ‘But the child was forced into go to the eel’s mouth, where he was entangled and about to be eaten.’

- (60) *basi tena hu-ŋ-chinja kwa hu-mw-acha*  
 so then CONS:CL1.SM-CL1.OM-butcher CONN.CL15 CONS:CL1.SM-CL1.OM-release  
 「彼はウナギを屠りにかかっている。ウナギは彼を解放してしまった。」  
 ‘He butchered the eel, who released (its grip on) the child.’



- (61) *hu-mw-acha yule a-ka-wa*  
 CONS:CL1.SM-CL1.OM-release DEM.DIST.CL1 CL1.SM-CONS-COP  
*wa-na-zingushana pale mpaka a-ka-m-weza*  
 CL2.SM-IPFV-unroll.CAUS.REC DEM.DIST.CL16 until CL1.SM-CONS-CL1.OM-be\_able  
*yule*  
 DEM.DIST.CL1  
 「(ウナギが) 彼を解放すると、そこで彼らはもみ合っている。(闘いは、マカメが  
 ウナギに) とどめを刺すことができるようになるまで続いた。」  
 ‘After releasing the child, they struggled until the child finished (the eel) off.’
- (62) *makame kikal'ange a-ka-l'awa na pande*  
 PN(CL1) PN(CL1) CL1.SM-CONS-come\_out COM portion  
 「マカメ・キカランゲは、(ウナギの) 一部分とともに現れた。」  
 ‘Makame Kikal’ange came up (to the surface of the water) with a portion of the eel.’
- (63) *a-ka-m-kat<sup>h</sup>a kwa ki-visu chakwe kile(?)*  
 CL1.SM-CONS-CL1.OM-cut CONN.CL15 DIM(CL7)-knives his.CL7 DEM.DIST.CL7  
*a-ka-ja zakwe jul'u*  
 CL1.SM-CONS-come his.CL10 up  
 「彼は(ウナギを) あの彼の小刀で切り刻み、浮かび上がってきたのである。」  
 ‘He had cut the eel with his small knife and then come up (to the surface of the water).’
- (64) *a-Ø-po-ja zakwe jul'u ku(?) chombo-ni*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-come his.CL10 up HESIT? ship-LOC  
*a-ka-ngiya chombo~chombo ki-ka-safiri*  
 CL1.SM-CONS-enter ship(CL7)~RED CL7.SM-CONS-travel  
 「彼は海面に戻ってくると、船に乗り込んだ。そして、船は旅に出た。」  
 ‘He came up and got into the ship. Then the ship went on with its journey.’
- (65) *wa-k-enda zao mkondo wa t<sup>h</sup>atu wa-nda pemba*  
 CL2.SM-CONS-go their.CL10 whirlpool(CL3) CONN.CL3 three CL2.SM-go PN  
 「彼らは、3 番目の渦潮へと向かった。彼らはペンバに行く道中にいる。」  
 ‘They went to the third whirlpool. They were going to Pemba.’

- (66) *huko pemba ni mfano tu lakini bahari k<sup>h</sup>ul'u zaidi*  
 DEM.MED.CL17 PN COP example just but ocean (CL9) big.CL9 more

*yao pemba*  
 their.CL9 PN

「ペンバというのは、たとえに過ぎない。ただ、(その海というのは、) ペンバ沖より  
 り広大である。」

‘Pemba is just an example. (But) ) It was a bigger ocean than that of Pemba.’

- (67) *wa-Ø-po-kwenda ki-ka-ziwa tena kile chombo*  
 CL2.SM-PFV-CL16.REL-go CL7.SM-CONS-catch.PASS again DEM.DIST.CL7 ship (CL7)

*mkondo wa t<sup>h</sup>atu*  
 whirlpool (CL3) CONN.CL3 three

「(そこに) 行くと、あの船は再びとらえられた。3 番目の海でのことである。」

‘When they went (there), the ship was caught again in the third whirlpool.’

- (68) *wa-ka-wa tena wat<sup>h</sup>u wa chombo-ni ha-wa-na wasiwasi*  
 CL2.SM-CONS-COP then people (CL2) CONN.CL2 ship-LOC NEG-CL2.SM-have worry

*tu-m-pilike-ni makame*  
 1PL.SM-CL1.OM-send-AL.PL PN

「そこで、船上の人達に不安はなかった。『マカメを遣わそう。』」

‘The people on the ship had no worries.’ “Let’s send Makame.”

- (69) *a-pilikwe makame*  
 CL1.SM-send.PASS.SBJV PN

「マカメは遣わされざるほかない。」

‘Makame had to be sent.’

- (70) *a-k-enda zao a-Ø-po-kwenda kwa ch<sup>h</sup>ewa*  
 CL1.SM-CONS-go their.CL10 CL1.SM-PFV-CL16.REL-go CONN.CL17 grouper (CL1)

*mkubwa sana ha-weza ku-pita tu*  
 big.CL1 very NEG:CL1.SM-be\_able INF-pass just

*ch<sup>h</sup>ewa a-ka-m-tia tumbo-ni makame*  
 grouper (CL1) CL1.SM-CONS-CL1.OM-put stomach-LOC PN (CL1)

「巨大なハタのところに行って、通り過ぎることなどできやしない。ハタは、彼（マカメ）を腹の中に飲み込んでしまった。」

‘When he went to the place of the very big grouper, he couldn’t get through. The grouper put Makame in its stomach.’

- (71) *he-m-tafuna ka-m-meze tu*  
 NEG:PFV:CL1.SM-CL1.OM-bite CL1.SM-CL1.OM-swallow.PFV just

「（ハタはマカメを）噛み千切ることなく丸呑みにしたのである。」

‘The grouper didn’t bite Makame. It just swallowed him.’

- (72) *lakini na makame a-ka-sema miye huku si-ta-kal’a*  
 but COM PN (CL1) CL1.SM-CONS-say PRO.1SG DEM.PROX.CL1 NEG:1SG.SM-FUT-stay

*a-ka-aza ku-cho ku-chimba tumbo-ni iko kati*  
 CL1.SM-CONS-begin INF-HESIT INF-dig stomach-LOC DEM.MED.CL17 inside

*mpaka a-ka-l’awa huko hapa*  
 until CL1.SM-CONS-come\_out DEM.MED.CL17 DEM.PROX.CL16

「マカメは言った。『こんなところでは生きていけない。』（そう言うと、ハタの）腹の中で穴を掘り始め、外に出てきたのである。」

‘Makame said: “I will not stay here.” He started to dig inside of the stomach until he got out (of there).’

- (73) *na yule ch<sup>h</sup>ewa a-ka-wa ka-n-kufwa*  
 COM DEM.DIST.CL1 grouper (CL1) CL1.SM-CONS-COP CL1.SM-PFV-die

「そして、あのハタは死んでしまった。」

‘Then the grouper died.’

- (74) *a-ka-kat<sup>h</sup>a*      *ki-pande*      *a-ka-ja*      *na-cho*      *ushahidi*      *chombo-ni*  
 CL1.SM-CONS-cut   DIM (CL7)-portion   CL1-CONS-come COM-PRO.CL7 testimony   ship-LOC  
 「彼はハタを切り刻み、その断片と勝利の雄たけびとともに、船に戻ってきた。」  
 ‘He cut the grouper into pieces and came back to the ship with a cry of triumph.’
- (75) *chombo*      *ki-k-enda*      *mbele*  
 ship (CL7)   CL7.SM-CONS-go   front  
 「船は前進した。」  
 ‘The ship went on.’
- (76) (*tena*   *vyovyote*   *vya-ŋ-pikwa*      *tena*)<sup>12</sup>  
 then   any.CL8   CL8.SM-PFV-cook.PASS   then  
 「ところで、(ウナギやハタの肉は) すべて料理されたの。」  
 ‘By the way, were any portions cooked?’
- (77) *tena*   *kula*   *ki-na-cho-kuja*      *wat<sup>h</sup>u*      *we-sha-pata*  
 then   every   CL7.SM-IPFV-CL7.REL-come   people (CL2)   CL2.SM-COMPL-get  
  
*posho*   *kitoweo*  
 portion   dish  
 「みんなおかずになる分け前を手に入れた。」  
 ‘People got their share of everything that came for their plates.’
- (78) *lakini*   *a-k-enda*      *mkondo*      *wa*      *nne*  
 but   CL1.SM-CONS-go   whirlpool (CL3)   CONN.CL3   four  
 「そして、彼は 4 番目の海へと向かった。」  
 ‘He (they) went to the fourth whirlpool.’
- (79) *a-Ø-po-ja-kwenda*      *ha-ku-na*      *samaki wala*   *ha-ku-na*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-come-go   NEG-CL17.SM-have   fish   nor   NEG-CL17.SM-have  
  
*mkunga*   *wala*   *ni*   *ku-wa*      *mt<sup>h</sup>u*      *mkul’u*   *sana*   *mke*  
 eel   nor   what   CL17.SM-COP.PFV   person (CL1)   big.CL1   very   female.CL1  
 「そこには魚もいなければウナギもない。そこには巨人がいる。女だ。」  
 ‘When he went there, there were no fish, no eels. There was a big person, who was female.’

<sup>12</sup> (76) は、この民話を聞いていた 10 代の少年のうちの一人の発話である。

- (80) *yule                    m̥tʰu                    m̥ke                    hu-m-pilikiya                    m̥kono*  
 DEM.DIST.CL1   person (CL1)   female.CL1   CONS:CL1.SM-CL1.OM-send.APPL   arm

*makame   mara                    mbili                    tʰatu*

PN (CL1)   times (CL9)   CL9.two   CL9.three

「あの女は、マカメに何度も腕を伸ばした。」

‘That lady reached her arm out to Makame several times.’

- (81) *hu-wa                    a-ka-m̥kwepa                    yule*  
 CONS:CL1.SM-COP   CL1.SM-CONS-CL1.OM-dodge   DEM.DIST.CL1

*lakini   mara                    ya                    nne                    a-ka-m̥baka*

but   time (CL9)   CONN.CL9   four   CL1.SM-CONS-CL1.OM-catch

「あいつ（マカメ）はよけ続けていた。しかし四度目にして、とうとう（女はマカメを）捕まえた。」

‘He dodged her, but on the fourth try, she caught him.’

- (82) *a-Ø-po-m̥baka                    a-ka-m̥chomeka                    ja                    hapa*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-CL1.OM-catch   CL1.SM-CONS-CL1.OM-put   like   DEM.PROX.CL16

*sidiria-ni*

brassiere-LOC

「彼女は（マカメを）捕まえると、こんな風に、ブラジャーの中に入れた。」

‘When she caught him, she put him in her brassiere.’

- (83) *a-ka-anza                    ku-m̥chonga                    sasa                    huko                    a-li-ko*  
 CL1.SM-CONS-begin   INF-CL1.OM-cut   now   DEM.MED.CL17   CL1.SM-COP-CL17.REL

*huko                    a-ka-anza                    ku-katʰa*

DEM.MED.CL17   CL1.SM-CONS-begin   INF-cut

「彼は、その自分がいるところで、彼女に切りかかった。そこで切り始めたのである。」

‘From there, he started to chop (her). He started to cut (her).’

- (84) *a-Ø-po-m-kat<sup>ha</sup>* *yule~yule* *mwanaṃke na-ye*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-CL1.OM-cut DEM.DIST.CL1~RED lady (CL1) COM-PRO.CL1  
*a-ka* *a-ka-lewegwa* *ni damu*  
 CL1.SM-CONS.HESIT CL1.SM-CONS-intoxicate.PASS by blood (CL9)  
*pe-sha-jaa* *damu ya m<sup>th</sup>u*  
 CL16.SM-COMPL-fill blood (CL9) CONN.CL9 person  
 「あの女を切ると、彼は血に酔っていた。そこには人間の血が満ちていた。」  
 ‘When he cut the lady, he was intoxicated by her blood. That place was filled with the person’s blood.’

- (85) *makame a-ka-zuka ha-ṇ kit<sup>h</sup>u kwa sababu*  
 PN (CL1) CL1.SM-CONS-rise NEG:CL1.SM-have thing CONN.CL17 reason  
*yule m<sup>th</sup>u jini wat<sup>h</sup>u wa-k-enda mbele*  
 DEM.DIST.CL1 person (CL1) monster people (CL2) CL2.SM-CONS-go front  
 「マカメが、(海面に) 上がってきたが、何も手にしていない。その理由は、怪物  
 が(魚ではなく) 人だったためである。人々は前進した。」  
 ‘Makame came up to the surface of the water. He had nothing. This is because the  
 monster was a person. The people advanced.’

- (86) *wa-Ø-po-kwenda kule mbele a-ka-fika ṃkondo*  
 CL2.SM-PFV-CL16.REL-go DEM.DIST.CL17 front CL1.SM-CONS-reach whirlpool (CL3)  
*wa nne wa tano*  
 CONN.CL3 four CONN.CL3 five  
 「彼らはそこを前進して、四番目、もとい、五番目の渦潮へとたどり着いた。」  
 ‘When they advance, they arrived at the fourth, no, the fifth whirlpool.’

- (87) *ṃkondo wa tano a-Ø-po-kwenda*  
 whirlpool (CL3) CONN.CL3 five CL1.SM-PFV-CL16.REL-go  
*ku-na j-oka na bahari-ni kubwa*  
 CL17.SM-have AUG (CL5)-snake COM ocean-LOC big. CL5  
 「五番目の渦潮に行くと、そこでは、巨大なへビ、それと海が待ち構えていた。」  
 ‘When he went to the fifth whirlpool, there were a big snake and an ocean.’

- (88) *nyoka ya bahari yule ndo hii*  
 snake (CL9) CONN.CL9 ocean DEM.DIST.CL1 EMPH DEM.PROX.CL9

*ka-na kwa mfano ja mkunga yule*  
 CL1.SM-have CONN.CL15 example like eel (CL1) DEM.DIST.CL1

「その海のヘビというのは、あれだ。あのウナギのようなものだ。」

‘The sea snake was kind of like that eel.’

- (89) *ka-na-taka a-m-l'ye makame lakini nyoka*  
 CL1.SM-IPFV-want CL1.SM-CL1.OM-eat.SBJV PN (CL1) but snake (CL1)

*ndo ka-na tabia ya ja ile ku-zonga~zonga*  
 EMPH CL1.SM-have character (CL9) CONN.CL9 like DEM.DIST.CL9 INF-coil~RED

「ヘビは、マカメを食べようとしている。しかし、ヘビというのは、とぐろを巻く習性をもっている。」

‘The snake wanted to eat Makame but it had a habit of coiling (to crushing its pray).’

- (90) *makame hu-wa ka-na-sokotwa ni yule*  
 PN (CL1) CONS:CL1.SM-COP CL1.SM-IPFV-twist.PASS by DEM.DIST.CL1

*lakini na veye ka-na-chomeka visu mpaka*  
 but COM PRO.CL1 CL1.SM-IPFV-stab knives until

*yule nyoka na-ye a-ka a-ka-lainika*  
 DEM.DIST.CL1 snake (CL1) COM-PRO.CL1 CL1.SM-CONS.HESIT CL1.SM-CONS-soften

「マカメは、あのヘビに締め付けられたが、あのヘビがのびるまで小刀を何度も突き刺した。」

‘Makame was twisted by it (the snake). But he also stabbed that snake again and again until it got softened up.’

- (91) *a-ka-m-kat<sup>h</sup>a*                      *ki-pande*                      *a-ka-ji-zongeza*  
CL1.SM-CONS-CL1.OM-cut   DIM (CL7)-portion   CL1.SM-CONS-REFL-wrap

*ki-pande*                      *cha*                      *m̥kia*                      *mwingine*                      *a-ka-zuka*                      *na-cho*  
DIM (CL7)-portion   CONN.CL7   tail (CL3)   other.CL3   CL1.SM-CONS-rise   COM-PRO.CL7

*kwenye chombo makame iyo*                      *ke-sha-kuja*  
with   ship   PN (CL1)   DEM.MED.CL1   CL1.SM-COMPL-come

「彼は、ヘビの一部を切り取り、自分自身に巻き付け、(ヘビの) 他方の尾の一部  
分を切り取り、それをもって海面に上がってきた。船があるところにマカメは  
戻ってきたのである。」

‘He cut one side (of the snake) and wrap it around himself. He came back to the ship with  
a chunk of the other side of the tail. Makame was back.’

- (92) *tw-enze*                      *tena ka-ta-kuwa*                      *safari*                      *ya*                      *mwisho*  
1PL.SM-go.SBJV.HESIT   then   CL1.SM-FUT-COP   journey (CL9)   CONN.CL9   end

*iyo*                      *m̥kondo*                      *wa*                      *saba*  
DEM.MED.CL9   whirlpool (CL3)   CONN.CL3   seven

「行こう (話を続けよう)。彼は、七番目の渦潮へ向かって、最後の旅路についた。」

‘Let’s go on (with the tale). He set out on the final journey to the seventh whirlpool.’

- (93) *m̥kondo*                      *wa*                      *saba*                      *a-Ø-po-kwenda*  
whirlpool (CL3)   CONN.CL3   seven   CL1.SM-PFV-CL16.REL-go

*a-ka-teleṃshwa*                      *yule*                      *makame*  
CL1.SM-CONS-let\_off.PASS   DEM.DIST.CL1   PN (CL1)

「七番目の渦潮についたとき、マカメは (再び) 放り出された。」

‘When he went to the seventh whirlpool, Makame was let off.’

- (94) *a-Ø-po-ja-kwenda*                      *kule*                      *kwa*                      *jini*                      *kubwa*  
CL1.SM-PFV-CL16.REL-come-go   DEM.DIST.CL17   CONN.CL17   monster (CL5)   big.CL5

*la*                      *ki-ume*  
CONN.CL5   DIM (CL5)-male

「男の巨大な怪物がいるところに着いたとき、」

‘When he went to the big male monster’s place.’



- (95) *tu-fanye je ja hapa*

1PL.SM-do.SBJV Q like DEM.PROX.CL16

『我々はこんなところでどうすべきだろうか。』

“What should we do here?”

- (96) *makame hu-tuza yule a-ka-ngoja*

PN (CL1) CONS:CL1.SM-stay\_calm DEM.DIST.CL1 CL1.SM-CONS-wait

*a-ka-pelekewa mkono*

CL1.SM-CONS-send.APPL.PASS arm

「マカメは落ち着いて待ち構え、そして（怪物の）腕へ連れて行かれた。」

‘Makame stayed calm and was waiting (for the monster). Then he was sent to the (monster’s) arm.’

- (97) *a-Ø-ko-ja-fisiwa mkono*

CL1.SM-PFV-CL17.REL-come-reach.APPL.PASS arm (CL3)

*a-ka-u-chomeka kisu*

CL1.SM-CONS-CL3.OM-stab knife

「（怪物の）腕に到達すると、その腕に小刀を突き刺した。」

‘He stabbed monster’s arm, where he was made to arrive.’

- (98) *jini hata ha-na habari kwa ku-chomekwa*

monster (CL1) even NEG:CL1.SM-have news CONN.CL15 INF-stab.PASS

*kiji-visu ja icho tu*

DIM (CL7)-knives like DEM.MED.CL7 just

*a-ka-pelekewa mkono mwingine*

CL1.SM-CONS-send.APPL.PASS arm (CL3) other.CL3

「怪物は、そんな小刀で刺されたことに特に反応は示さない。彼（マカメ）は、もう一方の（怪物の）腕へと送られた。」

‘The monster didn’t react though he was stabbed with the small knife like that. He (Makame) was sent to another arm.’

- (99) *lakini nyoka sasa hivi nani jini yule*  
 but snake now DEM.PROX.CL8 who monster (CL1) DEM.DIST.CL1

*a-ka-wa tena ka-na-chamul'a mdomo ku-m-fata yule*  
 CL1.SM-CONS-COP then CL1.SM-IPFV-open mouth INF-CL1.OM-follow DEM.DIST.CL1

「まさに今、ヘビ、いや、あの怪物は、あいつ（マカメ）を捕まえるために、口を開けている。」

‘But the snake, no, the monster was leaving its mouth open, following the child.’

- (100) *ka-na-m-kwama makame wa makame makame kikal'ange*  
 CL1.SM-IPFV-CL1.OM-squeeze PN (CL1) CONN.CL1 PN PN PN

「怪物は、マカメのマカメこと、マカメ・キカランゲの動きを封じ込めている。」

‘He was squeezing Makame of Makame, Makame Kikal’ange.’

- (101) *makame kikal'ange na-ye a-ka-sema*  
 PN (CL1) PN (CL1) COM-PRO.CL1 CL1.SM-CONS-say

*na miye leo hu-cha-ni-pata*  
 COM PRO.1SG today NEG:2SG.SM-FUT-1SG.OM-get

「マカメ・キカランゲは言った。『今日、お前は俺を捕まえることはできないだろう。』」

‘Makame Kikal’ange said’: “You won’t catch me today”.

- (102) *sa-rudiya ko kwetu kuko wazee wangu*  
 FUT:1SG.SM-return.APPL DEM.MED.CL17 our.CL17 DEM.MED.CL17 elders (CL2) my.CL2

*chombo-ni kwetu tw-ende ze tu-malize*  
 ship-LOC (CL17) our.CL17 1PL.SM-go.SBJV our.CL10.HESIT 1PL.SM-finish.SBJV

*safari zetu*  
 journey (CL10) our.CL10

『俺は、両親のもと、あるいは我々の船へと戻るだろう。進もう。我々の旅を終わらせよう。』

“I will be back to my parents’ place and our ship. Let’s go. Let’s finish our journey.”

- (103) *basi pale a-ka-wa ka-na-vamiwa ni yule*  
 INTJ DEM.DIST.CL16 CL1.SM-CONS-COP CL1.SM-IPFV-catch.PASS by DEM.DIST.CL1

*kwa mikono yote miwili a-ka-shikwa*  
 CONN.CL15 arms (CL4) all.CL4 two.CL4 CL1.SM-CONS-catch.PASS

*a-Ø-po-shikwa a-ka-vatwa*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-catch.PASS CL1.SM-CONS-swallow.PASS

「そこで、彼はあいつに捕まった。彼は両手を捕まれている。つかまれると、彼は、飲み込まれた。」

‘Then, he was taken by both of his arms and caught. When he was caught, he was swallowed.’

- (104) *tena jini ka-na-taka a-fanye kazi yakwe*  
 then monster (CL1) CL1.SM-IPFV-want CL1.SM-do.SBJV work (CL9) his.CL9

*pale a-fyonje*  
 DEM.DIST.CL16 CL1.SM-slurp.SBJV

「そして、怪物は自分の目的を果たそうとしている、そこで（マカメを）啜りこもうとしている。」

‘The monster wanted to accomplish his task, wanted to slurp (Makame) up there.’

- (105) *a-ka-m-chomeka kisu*  
 CL1.SM-CONS-CL1.OM-stab knife

「（マカメは、）小刀を（怪物に）突き刺した。」

‘He stabbed the knife into the monster.’

- (106) *a-Ø-po-ja-ki-l’avya*  
 CL1.SM-PFV-CL16.REL-come-CL7.OM-take\_out

*a-ka-tia na upande mwingine*  
 CL1.SM-CONS-put COM side (CL11) other.CL11

「小刀を取り出すと、反対側にも刃を入れた。」

‘When he pulled the knife out, he stabbed it on the other side.’

- (107) *a-ka-ki-l'avya*                      *a-ka-tia*                      *na upande*                      *mwingine*  
 CL1.SM-CONS-CL7.OM-take\_out    CL1.SM-CONS-put    COM    side (CL11)    other.CL11

*ta (?) hamaki jini*                      *la*                      *ki-shetani na-lyo*  
 ?      anger      monster (CL5)    CONN.CL5      DIM-spirit    COM-PRO.CL5

*li-sha-choka*                      *li-na-mwagika*                      *madamu tu*  
 CL5.SM-COMPL-get\_tired    CL5.SM-IPFV-bleed.NEU    blood      just

「小刀を取り出すと、反対側にも刃を入れた。怪物は、怒りに狂ったが、困憊し  
 きて、血を垂れ流すだけだった。」

‘He pulled out the knife, stabbing on another side. The monster got angry, but was already  
 exhausted, and just kept bleeding.’

- (108) *li-ka-fwa*                      *a-ka-rudi*                      *wa-ka-maliza*                      *safari*                      *zao*  
 CL5.SM-CONS-die    CL2.SM-CONS-return    CL2.SM-CONS-finish    journey (CL10)    their.CL10

*mpaka pemba kwa*                      *tajiri*  
 up\_to    PN      CONN.CL17    rich

「(怪物は) くたばり、彼は(船に) 戻った。そして、彼らは、ペンバの長者のと  
 ころで、彼らの旅を終えたのである。」

‘Then, the monster died. He went back. They finished their journey at a rich man’s place.’

- (109) *makame wa*                      *makame makame kikal'ange*  
 PN (CL1)    CONN.CL1    PN                      PN                      PN

*a-ka-chelezwa*                      *chombo-ni a-ka-wikwa*                      *ja palya*  
 CL1.SM-CONS-put\_off.PASS    ship-LOC      CL1.SM-CONS-put.PASS    like    DEM.DIST.CL16

*mahaa a-k-endeswa*                      *kwa*                      *tajiri*  
 place    CL1.SM-CONS-go.CAUS.PASS    CONN.CL17    rich

「マカメのマカメことマカメ・キカランゲは、船から降ろされ、長者のところ  
 へと連れて行かれた。」

‘Makame of Makame, Makame Kikal’ange was put off the ship and made to go to the rich  
 man(’s place).’

- (110) *huyu ndo mw-e-tu-okoa maana*

DEM.PROX.CL1 EMPH CL1.SM.REL-PFV-1PL.OM-save reason

『このものこそが、我々を救ってくれたのです。』

“It is this child that saved us.”

- (111) *mbona u-ma-kuja haraka leo*

why 2SG.SM-PRF-come quickly today

『どうして今日はそんなに急いできたのだ。』

“Why did you come (here) so quickly today?”

- (112) *huyu ndo mw-e-tu-okoa*

DEM.PROX.CL1 EMPH CL1.SM.REL-PFV-1PL.OM-save

『このものこそが、我々を救ってくれたのです。』

“It is this child that saved us.”

- (113) *ki-toto kidugu hiki lakini ndo ki-ma-cho-tu-okoa*

DIM (CL7)-child small.CL7 DEM.PROX.CL7 but EMPH CL7.SM-PRF-CL7.REL-1PL.OM-save

*bahari nzima tu-ma-pata ku-fika himahima*

ocean (CL9/10) whole.CL9/10 1PL.SM-PRF-get INF-reach quickly

『このものは小さな子供にすぎませんが、彼こそが我々を守り抜いたのです。すべての海域をわれわれは難なく進むことができました。』

“This child is very small but it is he that saved us in the whole ocean. So we have advanced rapidly.”

- (114) *ki-ka-rudi ki-ka-ru tiwa chombo-ni*

CL7.SM-CONS-return CL7.SM-CONS-HESIT put.PASS ship-LOC

「それ（マカメ）は戻ると、船に乗せられた。」

‘He came back and was put on the ship.’

- (115) *wat<sup>hu</sup> wa-ka-fanya kazi ya ku-pakiya*

people (CL2) CL2.SM-CONS-do work (CL9) CONN.CL9 INF-load

「人々は荷積みの仕事をしていた。」

‘The people (on the ship) were loading (the ship).’

- (116) *wa-Ø-po-rudi*                      *ki-ka-pewa*                      *halasa*  
 CL2.SM-PFV-CL16.REL-return    CL7.SM-CONS-give.PASS    wage (CL9)

*ya*              *ubahariya*    *ya*              *usarahangi*  
 CONN.CL9    boatswain    CONN.CL9    second\_chief

「彼らが戻ると、彼（マカメ）は、ウバハリヤ（掌帆長）もとい、ウサラハンギ（副船長）と同等の報奨金が与えられた。」

‘When they were back, he was given the wage of the “ubahariya” (boatswain), no, that of the “usarahangi” (second chief).’

- (117) *chombo-ni hu-wa nahodha hu-wa uredi hu-wa ubahariya*  
 ship-LOC    HAB-COP    captain    HAB-COP    seaman    HAB-COP    boatswain

*hu-wa na usarahangi lakini huyu usarahangi*  
 HAB-COP    COM    second\_chief    but    DEM.PROX.CL1    second\_chief

*ndo ch'ini ya nahodha*  
 EMPH    bottom (CL9)    CONN.CL9    captain

「船には、ナホザ（船長）、ウレディ（水夫）、ウバハリヤ（掌帆長）、ウサラハンギ（副船長）がいるが、ウサラハンギというのは、ナホザのすぐ下の階級だよ。」

‘On the ship, there are a “nahodha” (captain), an “uredi” (ordinary seaman), and an “ubahariya” (a second chief). This “usarahangi” is ranked just under the “nahodha”.’

- (118) *ye a-ka-pangiwa halasa ya usarahangi*  
 PRO.CL1    CL1.SM-CONS-arrange.APPL.PASS    wage (CL9)    CONN.CL9    second\_chief

「彼（マカメ）は、ウサラハンギ（副船長）と同等の報奨金が与えられた。」

‘He was rewarded with the wage of the “usarahangi” (second chief).’

- (119) *mu-N-vi-tambul'a lakini*  
 2PL.SM-PFV-CL8.OM-understand    but

「お前たち分かったか。」

‘Have you understood?’

- (120) *(kwani uo usarahangi wa-w-ijua nini)*<sup>13</sup>  
 by\_the\_way DEM.MED.CL11 second\_chief(CL11) CL2.SM-CL11.OM-know what  
 「ところで、そのウサラハンギ（副船長）が何かについて、こいつら（昔話を聞いている子供たち）は知っているの。」  
 ‘By the way, do they know what “usarahangi” (second chief) is?’

- (121) *ha-wa-w-iji usarahangi miye kwa mfano*  
 NEG-CL2.SM-CL2.OM-know.PFV second\_chief PRO.1SG CONN.CL15 example  
  
*ndo nahodha ch'ini yakwe pa-wa usarahangi*  
 EMPH captain bottom (CL9) his.CL9 CL16.SM-COP.PFV second\_chief  
 「彼らはウサラハンギについて知らない。私が、例えばナホザだとしたら、その下にいるのがウサラハンギだ。」  
 ‘They don’t know about “usarahangi” (second chief). For example, I’m a “nahodha” (captain). Just below me, there is an “usarahangi”.’

- (122) *mt'hu wa ku-fanya kazi za jul'u~jul'u*  
 person (CL1) CONN.CL1 INF-do work (CL10) CONN.CL10 above~RED  
  
*pengine hata (kazi ndugu~ndugu)*<sup>14</sup>  
 probably even work (CL9) small.CL9~RED  
 「上の仕事をする人。（つまり小さな（労苦を伴わない）仕事）」  
 ‘A person who with a higher position, probably (doing easy jobs).’

- (123) *bahariya ndo wa-na-o kazi kuh'u na uredi*  
 boatswain EMPH CL2.SM-have-CL2.REL work (CL9) big.CL9 COM seaman  
 「バハリヤというのが大変な仕事を担う人。それとウレディも。」  
 ‘It is the “bahariya” (boatswain) who did most of the labour, together with the “uredi” (seaman).’

<sup>13</sup> (120) は、同席していたファキ・パンドゥ・マカメ氏の発話である。

<sup>14</sup> (122) の括弧でくくった部分は、同席していたファキ・パンドゥ・マカメ氏の発話である。

- (124) *nahodha veye ka-wa-po tu ka-na-elekeza*  
captain (CL1) PRO.CL1 CL1.SM-COP.PFV-PRO.CL16 just CL1.SM-IPFV-direct.CAUS

*ka-na-shauri ka-na-tuma lakini sasa ch<sup>h</sup>ini yakwe*  
CL1.SM-IPFV-consult CL1.SM-IPFV-order but now bottom (CL9) his.CL9

*ndo pa-wa hiyo sarahangi*  
EMPH CL16.SM-COP.PFV DEM.MED.CL9 second\_chief (CL9)

「ナホザ、彼はいるだけ。指示を出し、助言を与え、(人を) つかう。その下に  
いるのが、サラハンギというわけだ。」

‘The “nahodha” (captain) is just there. He decides the direction, gives advice, and  
commands. Ranked just below him, is the “sarahangi”.’

- (125) *a-Ø-po-rudi nahodha a-ka-m-chukul'a*  
CL1.SM-PFV-CL16.REL-return captain (CL1) CL1.SM-CONS-CL1.OM-take

*yule mwana a-k-enda na-ye kwao*  
DEM.DIST.CL1 child (CL1) CL1.SM-CONS-go COM-PRO.CL1 their.CL17

「戻ると、ナホザはその子供を連れて、彼ら(マカメの両親の) ところを訪れた。」

‘When the “nahodha” (captain) was back, he took the child, and went to their (Makame’s  
parents’) place together with him.’

- (126) *a-ka-sema mwana huyu ka-na-ni-fawa uzuri*  
CL1.SM-CONS-say child (CL1) DEM.PROX.CL1 CL1.SM-IPFV-1SG.OM-save well

*maana yuno mo m-tende je*  
reason DEM.PROX.CL1 DEM.MED.CL18 2PL.SM-do.PFV Q

「彼(ナホザ) は言った。『この子供は、私たちをよく助けてくれる。あなたたち  
は何をしたのですか。』」

‘(The captain) He told them’: “This child saves us well. What did you do (for him)?”

- (127) *ka-ta-ni-fawa huyu katika chombo*  
CL1.SM-FUT-1SG.OM-save DEM.PROX.CL1 in ship

『彼は、船上で私をよく助けてくれるでしょう。』

“This one (child) will save me on the ship.”



(128) *a-ka-uzwa*                      *ni*   *mama*

CL1.SM-CONS-ask.PASS by mother

「彼（ナホザ）は母親に尋ねられた。」

‘He was asked by (Makame’s) mother.’

(129) *kwani* *pale*                      *u-Ø-po-ja-m-chukul'a*

why DEM.DIST.CL16 2SG.SM-PFV-CL16.REL-come-CL1.OM-take

*ku-vu*                      *ku-m-chukulili*                      *haja*   *gani*

2SG.SM-COP.PST 2SG.SM-CL1.OM-take.APPL.PFV reason what\_kind\_of

『あなたが（マカメを）召し抱えたとき、あなたは、どんな仕事を与えようと雇い入れたのでしょうか。』

“When you employed him (Makame), with what kind of reason did you employ him?”

(130) *ni-vu*                      *ni-m-chukul'u*                      *kama*   *yaani*   *uredi*                      *wangu*

1SG.SM-COP.PST 1SG.SM-CL1.OM-take.APPL.PFV like that\_is seaman (CL11) my.CL.11

『（一番位が下の）ウレディ（水夫）として雇いました。』

“I employed him as an “uredi” (seaman).”

(131) *tena*   *mbona*   *ku-n-ny-ambiya*   *ka-cha-ku-fawa*

then why 2SG.SM-PFV-tell CL1.SM-FUT-2SG.OM-save

『それでは、あなたが私に彼があなたを助けるだろうといったのはなぜでしょう。』

“Why did you tell me that he would save you?”

(132) *ee*   *ka-na-fawa*                      *uzuri*   *sana*   *maana*   *huyu*                      *sababu*                      *yako*

FIL CL1.SM-IPFV-save well very reason DEM.PROX.CL1 reason (CL9) your.CL9

*ku-uza*   *we*                      *ku*                      *mu-N-fanya*   *je*

INF-ask PRO.2SG HESIT 2PL.SM-PFV-do Q

『ええ、彼はよく助けてくれます。あなたたちはいったい何をしたのですか。』

“Yes, he saves (us) very well. I was wondering what you did (for him).”

- (133) *maana tu-na-vyo-m-tambul'a huyu kwa jina*  
 reason 1PL.SM-IPFV-CL8.REL-CL1.OM-understand DEM.PROX.CL1 CONN.CL15 name

*makame wa makame lakini kulya chombo-ni*  
 PN (CL1) CONN.CL1 PN but DEM.DIST.CL17 ship-LOC (CL17)

*ka-tw-ambili veye makame kikal'ange makame kikal'ange huyu*  
 CL1.SM-1PL.OM-tell.PFV PRO.CL1 PN PN PN PN DEM.PROX.CL1  
 『というのも、我々がこの子についてその名前から理解していることは、(彼が) マカメのマカメであるということです。しかし船上で、彼は我々に、彼がマカメ・キカランゲであると言いました。マカメ・キカランゲです、この子は。』  
 “We know about him from his name that he is Makame of Makame, but he told us on the ship that he was Makame Kikal’ange. This is Makame Kikal’ange.”

- (134) *vi-vu je mpaka a-ka-itwa makame kikal'ange*  
 CL8.SM-COP.PST Q until CL1.SM-CONS-call.PASS PN PN

*na babi-e makame wa makame na veye ndo makame*  
 COM father-his PN (CL1) CONN.CL1 PN COM PRO.CL1 EMPH PN

*a-we makame wa makame papo*  
 CL1.SM-COP.SBJV PN (CL1) CONN.CL1 PN DEM.MED.CL16

『彼がマカメ・キカランゲと呼ばれるようになるまでに、いったいどんなことがあったのでしょうか。彼の父は、マカメのマカメであり、彼もまた、マカメのマカメではありませんか。』  
 “What happened until he started to be called Makame Kikal’ange His father was called Makame of Makame. So he should also have been called Makame of Makame.”

- (135) *huyu mwana huyu katika utoto wakwe*  
 DEM.PROX.CL1 child (CL1) DEM.PROX.CL1 in childhood (CL11) his.CL11

*ka-ni-ambili ni-m-njikile ki-gae*  
 CL1.SM-1SG.OM-tell.PFV 1SG.SM-CL1.OM-cook.APPL.SBJV DIM-pot

*ni-m-kal'ange*

1SG.SM-CL1.OM-fry.SBJV

『この子供は、幼いころ、私に、鍋で彼のことを料理するように、彼を炒めるように言いました。』

“This child, in his childhood, told me that I should cook him in the small pot, that I should fry him.”

- (136) *ha-njika ki-gae lakini ka-ngili mwenyewe*  
 CONS:1SG.SM-cook DIM-pot but CL1.SM-enter himself

*he-ngoja ha-m-kal'anga a-ka-ngiya mwenyewe*  
 NEG:CL1.SM:PFV-wait CONS:1SG.SM-CL1.OM-fry CL1.SM-CONS-enter himself

*mlya ki-gae-ni mwa moto*  
 DEM.DIST.CL18 DIM-pot-LOC (CL18) CONN.CL18 fire

『私が鍋を用意すると、彼は自分から鍋に入りました。待たなかったのです。そして私は彼を炒めました。彼は自分自身で、熱い鍋の中に入ったのです。』

“I was about to cook him in the small pot, but he dove in by himself. He didn’t wait for me to fry him. He dove into the pot in the fire.”

- (137) *a-ka-ji-virusa~virusa a-Ø-po-kwisha a-ka-j-ita*  
 CL1.SM-CONS-REFL-roll~RED CL1.SM-PFV-CL16.REL-finish CL1.SM-CONS-REFL-call

*makame kikal'ange*

PN PN

『彼は（鍋のなかで）ゴロゴロと転がり、それを終わると、マカメ・キカランゲを自称するようになりました。』

“He rolled himself from side to side in the pot. When he was done, he called himself Makame Kikal’ange.”

- (138) *kwa hivyote na*  
CONN.CL15 DEM.MED.CL8 then

*miye hu-wa na-m-chuza tu ukaidi wakwe*  
PRO.1SG CONS:1SG.SM-COP IPFV:1SG.SM-CL1.OM-look just obstinacy (CL11) his.CL11

*utundu wakwe na mimi lakini si-na vya ku-m-tenda*  
slyness (CL11) his.CL11 COM PRO.1SG but NEG:1SG.SM-have CONN.CL8 INF-CL1.OM-do  
『それからというもの、私は彼の強情さ、頑固さを見守るばかりです。私が彼を  
どうこうするということはありません。』

“Since then, I just look at him. I have nothing to do with his obstinacy and slyness.”

- (139) *kama jambo ha-ly-ebu*  
if matter (CL5) NEG:CL1.SM-CL5.OM-want

*basi hu-wa ndo ha-ly-ebu*  
then HAB-COP EMPH NEG:CL1.SM-CL5.OM-want

『もし、彼がいらないというのであれば、それはいらないということです。』  
“If he doesn’t want something, he never changes his mind.”

- (140) *hu-na vya ku-mw-ima kwa hivyo*  
NEG:2SG.SM-have CONN.CL8 INF-CL1.OM-stop CONN.CL15 DEM.MED.CL8

*ndo ivyo~ivyo u-Ø-vyo-m-gundul'a iko*  
EMPH DEM.MED.CL8~RED 2SG.SM-PFV-CL8.REL- CL1.OM-observe DEM.MED.CL17

*chombo-ni kwenu*  
ship-LOC (CL17) your.CL17

『あなたは、彼を止める術などもっていません。それは、あなたたちの船の中で  
見た通りです。』

“There is nothing to stop him as you observed in your ship.

- (141) *ka-na-sema huyu ka-ta-ni-fawa wala tena ha-nda*  
 CL1.SM-IPFV-say DEM.PROX.CL1 CL1.SM-FUT-save nor again NEG:CL1.SM-go

*chuo-ni na-m-chukul'a nahodha na-m-chukul'a*  
 school-LOC IPFV:1SG.SM-CL1.OM-take captain IPFV:1SG.SM-CL1.OM-take

*a-we sarahangi wangu hata si bahariya*  
 CL1.SM-COP.SBJV second\_chief(CL1) my.CL1 even NEG boatswain

「ナホザは言った。『この子は、再び学校（マドラサ）に行くことはなく、私を助けるでしょう。私は彼を雇い入れます。彼はバハリヤではなく、私のサラハンギとなるべきです。』」

‘The “nahodha” (captain) said: “This child will save me, he will no longer go to school (madrasah). I recruit him. He should be my “sarahangi” (second chief) rather than “bahariya” (boatswain).’

- (142) *hapo hadithi i-ka-koma*  
 DEM.MED.CL16 tale (CL9) CL9.SM-CONS-conclude

「物語はここで終わりだ。」

‘The tale is over here.’

**付録 1 : 録音について (英語) (Appendix 1: Information on the recording)**

The recoding was conducted on 24th June 2019 in Jongowe ward on Tumbatu. While I recorded for nearly 40 minutes, I only transcribe the initial part of 16:30 minutes, where the folktale is told. In addition to the main speaker, called Mshenga Haji Sheha, there were three participants. One is Faki Pandu Makame, who is in his forties and from Gomani, Tumbatu, whereas the others are teenage boys from Jongowe. I was not in front of the main speaker while he was telling the tale, although before he started speaking, I explained that I would record. The transcription was carried out on 25th June 2019 in cooperation with Faki Pandu Makame.

Mshenga Haji Sheha, the main speaker, is 77 years old. While he has been to the coastal areas of Tanzania mainland and Pemba Island for fishing, he has lived in Jongowe since he was born. His parents, who raised him, are also from Jongowe. The tale he told was handed down to him from his maternal grandmother, who also lived with him in his childhood.

**付録 2 : 表記について (英語) (Appendix 2: Transcription, glossing and translation policy)**

The transcribed data is segmented into 142 passages. Each passage roughly forms a syntactic (and/or semantic) unit, but not always corresponds to a phonetic phrase or block in terms of pronunciation.

For transcription, I use the orthography of Standard Swahili with the following modifications:

- Aspiration and nasal syllabicity are marked with the IPA symbols assigned for them.
- The advanced palatal lateral approximant, which is peculiar to Kitumbatu, is represented with / and an apostrophe.
- Ø is used for the prefix without phonological form.
- The first characters of passages and proper nouns are written in lowercase, and periods are not added at the end of passages.
- The parenthesised question mark (?) shows that pronunciation is unclear and thus transcription is uncertain.
- When an utterance is made by another participant than the main speaker, the passage is parenthesised.

Functional morphemes are glossed with the abbreviations listed at the end of the article, although the question mark is used when it was difficult to decide on an appropriate gloss because of the uncertain pronunciation. Note that I follow the standard noun classification of Swahili, which differentiates noun classes numbered from 1 to 18 (12–14 are missing) (cf. Meinhof 1932). The noun class of nouns is glossed in parentheses, and that of modifiers is noted after the lexical meaning without parenthesis. When there is no constituent agreeing with the noun or modifier in question, the noun class information is omitted. As for other glossing conventions, I follow the Leipzig Glossing Rules.

While Japanese and English translations correspond to the original Kitumbatu text in terms of

lexical meanings and grammatical constructions as closely as possible (for comprehension), complementary words can be parenthesised for ease of interpretation.

### 略号一覧 (Abbreviations)

1	1 人称 (first person)	ITV	行格 (itive)
2	2 人称 (second person)	HESIT	言い淀み (hesitation)
AL	聞き手活用 (allocutive)	LOC	所格 (locative)
APPL	適用 (applicative)	MED	中称 (medial)
AUG	指大 (augmentative)	NEG	否定 (negative)
CL	名詞クラス (noun class e.g. CL1 = class 1)	NEU	中間 (態) (neuter)
COM	共格 (comitative)	OM	目的語標識 (object marker)
COMP	補文標識 (complementiser)	PASS	受動 (passive)
COMPL	終結 (completive)	PFV	完結 (perfective)
CONN	属辞 (connective)	PN	固有名詞 (proper noun)
CONS	継起 (consecutive)	PL	複数 (plural)
COP	コピュラ (copula)	PRF	完了 (perfect)
CAUS	使役 (causative)	PRO	代名詞 (pronoun)
DEM	指示詞 (demonstrative)	PROX	近称 (proximal)
DIM	指小 (diminutive)	PST	過去 (past)
DIST	遠称 (distal)	Q	疑問 (question)
EMPH	強調 (emphatic)	REC	相互 (reciprocal)
FUT	未来 (future)	RED	重複 (reduplication)
HAB	習慣 (habitual)	REFL	再帰 (reflexive)
IMP	命令 (imperative)	REL	関係節 (relative clause)
INTJ	間投詞 (interjection)	SG	単数 (singular)
INF	不定形 (infinitive)	SM	主語標識 (subject marker)
IPFV	未完結 (imperfective)	SBJV	接続 (法) (subjunctive)

### 謝辞 (Acknowledgements)

本研究はアジア・アフリカ言語文化研究所の共同利用・共同研究課題「スワヒリ語諸変種にみられる多様性とダイナミズムへのアプローチ」及び「バントゥ諸語のマイクロ・バリエーションの類型的研究(2)」の研究成果の一部である。調査に協力してくれたすべての人々、特に民話を語ってくれたムシェンガ・ハジ・シェハ氏、筆者のトゥンバトゥ島での調査を常日頃から支えてくれるファキ・パンドゥ・マカメ氏、また本稿執筆に際して有益な助言を与えてくれた鈴木博之氏、千田俊太郎氏、ルーカス・リーザ氏にはここに記して謝意を表す。

参考文献 (References)

- Baraza la Kiswahili la Zanzibar. (2012) *Kamusi la lahaja ya Kitumbatu*. Zanzibar: Baraza la Kiswahili la Zanzibar.
- Meinhof, Carl. (1932) *Introduction to the phonology of the Bantu languages (translated by N. J. van Waremelo)*. Berlin: Dietrich Reimer Verlag.
- Nurse, Derek, & Hinnebusch, Thomas J. (1993) *Swahili and Sabaki: A linguistic history*. Berkeley: University of California Press.
- Stude, Traute. (1995) Language change and language maintenance in the island of Tumbatu. In Shaaban A.K. Mlacha & Arvi Hurskainen (Eds.), *Lugha, utmaduni na fasihi simulizi ya Kiswahili* (pp. 83–117) Dar es Salaam: Taasisi ya Uchunguzi wa Kiswahili, Chuo Kikuu cha Dar es Salaam.
- Taasisi ya Uchunguzi wa Kiswahili. (2001) *Kamusi ya Kiswahili-Kiingereza*. Dar es Salaam: Taasisi ya Uchunguzi wa Kiswahili, Chuo Kikuu cha Dar es Salaam.
- Takemura, Keiko. (2008) Ripoti juu ya utafiti wa Kiswahili wa 2007-2008 nchini Tanzania -Msamiati na sarufi ya Kichaani, Kaskazini ya Unguja. *Swahili & African Studies* 19, 49–62.
- . (2016) Miundo ya sentensi zenye kitenzi ‘-wa’ katika Kichaani - Kulinganisha na Kiswahili Sanifu. *Swahili & African Studies* 27, 53-63.
- . (2017) Miundo ya sentensi za njeo iliyopita katika Kitumbatu-Gomani – Kwa kulinganisha na Kichaani na Kiswahili Sanifu. *Swahili & African Studies* 28, 109–121.
- 竹村景子. (1999) 「スワヒリ語チャアニ方言についてー音韻および時制を中心にー」『スワヒリ & アフリカ研究』 9 : 118–129.
- . (2012) 「スワヒリ語諸変種記述調査報告(1)ーチャアニ変種基礎語彙 600 語ー」『スワヒリ & アフリカ研究』 27 : 64–82.
- . (2014) 「スワヒリ語トゥンバトゥ方言 (G43)」塩田勝彦 (編)『アフリカ諸語文法要覧』 211–226. 広島 : 溪水社.

受理日 2020 年 4 月 15 日



## **A narrated folktale in Kitumbatu**

### **The adventures of Makame the Fried**

Makoto Furumoto

JSPS/University of Essex (mf19996@essex.ac.uk)

#### **Abstract**

In this article, I transcribe recorded material, in which, for the most part, a folktale is told in the Kitumbatu dialect of Swahili. In the coastal areas of Eastern Africa, there are several language varieties regarded as local dialects of Swahili (cf. Nurse & Hinnebusch 1993). Kitumbatu is one of these, spoken by people on Tumbatu Island, off the northwest tip of Unguja, as well as the ancestors of Tumbatu immigrants in some part of northern Unguja. There are two wards on Tumbatu, Gomani and Jongowe, and the main speaker of the narrative is from the latter.

In this narrative material, there are a number of linguistic features which have previously not been described (cf. Stude 1995, Takemura 1999, 2008, 2012, 2014, 2016, 2017, Baraza la Kiswahili la Zanzibar 2012). These features suggest not only that the description of Kitumbatu is incomplete as of yet, but also that there is dialectal variation within the varieties summarised as ‘Kitumbatu’. The main purpose of this article is to share primary linguistic data which contributes to advancing the description of Kitumbatu.